



第 41 号

発行所

〒157-0066

東京都世田谷区成城 1-13-1

武蔵工業大学付属中・高等学校内

電話 03-3416-4161

発行責任者 阿部 俊夫

編集責任者 清水 茂

# 「じやべり場 師弟席」・対談

## II 体験学習をさらに取り入れ独自の

## 教育カリキュラムの組み立てへII

今号では、日頃当同窓会にご理解いただいております母校教頭でおられる堤教頭並びに井上教頭のお二方と、当会会長を筆頭に事務局スタッフとの初対談を企画しました。公(仕事)私(家庭)ともに難しくなってきた昨今の社会現象を母校の現状や生徒たちの実体、さらには私たちを含めた本校卒業生が体験している現実社会のお互いの情報を共有することで話が弾みました。(敬称は略しました)

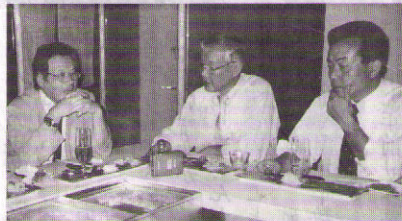
(阿部) 本日は母校でのお仕事から解放され、ご帰宅の途中お疲れのところを、さらに課外授業としてサービス残業?を強いたこと誠に

申し訳ございません。感謝申し上げます。

(堤・井上) いえ、どういたしました。

(阿部) 私は仕事から出張が多く、二・三日前の飛行機便の中で本日の対談のテーマをあれこれと試行錯誤を繰り返して検討してきたのですが。

(井上) それはまたご



左から堤教頭、阿部会長、塩満事務局長

### 総会・懇親会へのお誘い

卒業生の皆様、ぜひお出かけ下さい

日時 2003年11月14日(金)  
・18時30分より第28回総会  
・19時より懇親会

会場 渋谷・エクセルホテル東急(渋谷マークシティ内)  
6階プラネッツルーム TEL.03-5457-0109

会費 ●個人参加4,000円(食べ・飲み放題)  
●グループ参加(同級生・先輩・部活仲間  
に声を掛け合って3名以上でのご同伴)

- ・3名参加=10,000円
- ・4名または5名での参加=追加1名につき3,500円
- ・6名以上での参加は上記3名参加2グループとします。

(注意)会場は一昨年まで東急ゴールデンホールでした。昨年からはエクセルホテル東急へと変更となりましたのでお間違えのないように!!

苦勞様です。  
(阿部) しかし結局その試行錯誤のまま、本日に至りました。スイマセン。ちょっと小耳に挟んだのですが今年の中入学人数が増えてしまった状況とこのことですが、少子化の状況ですのに何故なのでしょう。  
(堤) ええ、結果的には蓋を開けたら入学決定後の辞退者がほとんど居らずにそのまま入学を希望したことです。公立中学校が新しい制度で三割減になるこ

〈新〉名簿(平成16年版)発行予定・本号7ページをご覧になりご協力を!





左から清水理事、井上教頭、堤教頭

とで私学指回が間接的に増えたこともありませう。  
**(堤)** 今年度は、一クラス45名の五クラスに成り高校に入学した時点では、二クラス増加で七クラスに成ります。

**(清水)** 私は無知なのですが、三割減とは、教師の削減ということなのですか。財政難から？私はどうしても都の財政に係わる無駄使いの裁判等を進めておりますものでつい財政から考えてしまうもので。スイマセン。

**(堤)** 学校教育のどこにゆとりを持たせるかが問題ですが、ゆとり教育の一環としていわゆる文科省の指導による学習内容の軽減、削減です。

学習への不安があつて、その分、私学の学習体制に期待する所が大きくなって来ています。  
**(清水)** ということは、その「ゆとり教育」の

分が他の私学に影響を及ぼす？  
**(堤)** 生徒の集まる学校と集まらない学校との二極化現象が拡大しています。  
**(清水)** それはそうと気になる現状の混沌とした社会現象の中、生徒さん達は卒業

後の計画にどの様に対応していこうと。また望んでいるのでしょうか。

**(堤)** 大学選択や、進路の上で生徒自身の目標の設定の道筋が立てにくい社会状況では有りませうね。

**(阿部)** 話は変わりますが、昨今の登校拒否問題などでも親があまりにも自分の時代と比較しての経験則からの判断で「行きなさい」と頭ごなしに命令するより、現状の社会状況を把握・理解した上で親も本人の立場に立って考え、論理的に説明した上で主体的に判断させるべきで、無理強いはいしなない方が良い解決方向へ進むのかもしれない。

**(清水)** 私も同感ですね。

家庭での教育とはある意味で子供達を取り巻く環境を客観的に把握して対応することが結構大切な事だと思えます。親が忙しさを、仕事上のストレスを抱えている現在、これらの最低限の事さえも、ないがしろにしてきてしまっていること。さらに他人との比較意識や間違つた情報に左右されているということの認識ができていないことにも一面として原因が有るのではないですか。

**(堤)** 生徒やそれぞれの家庭でも生活スタイルが全く変わってきてしまっていますからね。

**(阿部)** 又、話を変えて申し訳ありませんが以前、校長先生が校舎を建て直すというをおっしゃっていたのを覚えていますが、確かに先程おっしゃった生徒の増加や耐用年数の問題点等が有りましたよね。

**(堤)** ええ。今の校舎の一部は七年前リニュー

アルされましたが、それ以外の部分は昭和39年以降のもので老朽化が甚だしいので私たち教職員としても育英会に是非、現状を具に掌握していただき、計画の俎上に載せてもらおうべくいま努力しています。

**(塩満)** 今の親御さんたちは建物や施設の設備の近代的な部分を見学して受験を決めてゆくということも有るでしょうし。

**(堤)** そうですね。現状でも、ある意味で実験室の様に、教科に関する設備で充実しているところも有ると思います。現実、受験生のご父兄の方々にも、この点においてはすこぶる素晴らしいという評価を得ています。実験室の多さは、他校にも例は少なく一クラスを二班に分けてそれぞれの実験授業を確保しているという基本姿勢は崩れていませんので。現在は木目の細かい指導ができていくということが評価されています。我が校の自慢とも言えるところですね。しかしながら余りにも建物が「老朽化」しているのが悩みの種です。

**(塩満)** 卒業生として手前味噌なのですが、受験に関しては、私たちOBの口コミや、社会人となつてからの卒業生の姿勢が良い意味でかなり影響があると思えますが、どうでしょう。あそここの学校、結構いいそうですねとか良く私も聞きますが。

**(堤)** そうですね。学校説明会や相談会などで、受験生の親と色々お話しする中で、「人間性を育てる」「人間造りをする」という、いままでの本校の取り組みが一定の評価を得ているのだなと感ずることが多く有りますね。



## 《公示》同窓会総会開催について

第 28 回総会を下記の要領にて開催いたします。同窓会会員（卒業生）はご出席下さい。

厳しいご時世ではございますが、ある意味で同じ釜の飯を食った人間同士、それぞれの専門分野で活躍なさっていると  
思います。情報交換や、今後の人生の糧となる交流をしま  
しょう。先輩方・後輩方との利害のない親交も貴重です。

### 記

日 時 2003 年 11 月 14 日（金）午後 6 時 30 分より  
場 所 渋谷・エクセルホテル東急 6 階プラネッツルーム

### 議 題

- 1 号議案 2002 年度（2002 年 10 月 1 日～2003 年 9 月 30 日）活動報告
- 2 号議案 2002 年度（2002 年 10 月 1 日～2003 年 9 月 30 日）決算報告
  - ① 一般会計報告
  - ② 名簿関係収支報告
  - ③ 第 27 回総会決算報告
  - ④ 繰越金内訳
  - ⑤ 会計監査報告
- 3 号議案 2003 年度（2003 年 10 月 1 日～2004 年 9 月 30 日）活動計画
- 4 号議案 2003 年度（2003 年 10 月 1 日～2004 年 9 月 30 日）予算案
- 5 号議案 その他

### 懇親会のご案内

総会終了後、同一場所において懇親会を開催いたします。週末の夜、仕事を離れ、懐かしい友や先生方と飲食を共にしながら楽しいひとときを過ごしてはいかがでしょうか。お仕事  
の都合で総会に間に合わない方でも歓迎いたします。

日 時 総会終了後（7 時開会予定）  
場 所 総会と同じ場所（楽しい企画を楽しんでください）  
会 費 巻頭ページ参照（飲み・食べ放題）

\*参加者を増やしたい事務局の意向に是非ご協力ください。

のんびりと又楽しく過ごすのは親御さんとして魅力に感じることと思います。が、しかしそれだけでなく現在の状況では、ステップを踏んでの学習なり活動なりを積み重ねていくシステムが有るか無いか問われています。三年前からの改革が、現在過渡期では有りませんが次第に実を結んで来ている様です。中学の期間では何をし、高校の期間では何をするか、という六ヶ年の期間においての進路に於ける段階的目標を明確にしたことは、学校としては大きな第一歩だと思います。ご父

兄にとっても生徒たちにとってもそれらを求めていた筈ですし。

（阿部） 私は卒業後すでに四十年になるという年齢ですが、この様なお話を伺っていると本当に先生というお仕事は難しい、大変だと思えますね。時代の流れに即応しなければいけない部分も抱えていますし。私自身かつてキャビキャビの生徒だったときを思うと本当に難しく厄介な生徒だったのだらうなと！先生と生徒との関係は決定的なものだとも思いますし、先生も十人十色ですし、先生も

人間ですし色々あります。

生徒から見ればオトナですが親とは別の存在であり、先生とどんな関係が持てたかが、これから先の人生にとってある意味決定的な役割を果たし、また将来を担って行くという生徒たちには目には見えないが心の奥底に深く潜行しながら、生き続けていくものなのだな。その点、母校は男子校でもあり、先生と生徒の間は何でも言い合える。私がそうであつた様に。

（堤） そうですね。我が校では先生と生徒の距離が近いというのうちの学校の特徴ですね。休み時間になると職員室が生徒で一杯になる。これも一つの武蔵校の雰囲気なのかも知れませんね。

（阿部） はい。私が学校におじやましたときは正しくその通りの光景が見られますね。

（堤） しかし最近はその良し悪しは別として、生徒と教師の間で今までの付き合い方とは少し違って来ている様ですね。

昔だったら「これは常識だよな」ということで、それぞれの生徒たちに共通に相通じたものですが、最近では、生徒たちをとりまく環境や生活スタイルに変化が起き、伝えるべきこともなかなか通じない。対応は結構手間がかかります。

生活の「知恵」とか「常識」とか、集団での振る舞い方や、個人の目標の設定や主体的な生活を送ろうとする意欲が育ち難くなってきています。これらは、生徒の生活での実体験が希薄になったからなのではないかと感じ



ざるを得ないですね。

(阿部) なるほど。ずいぶん変化してきている様ですね。

(清水) やはり小学校の時代から目標が受験という状況がそうさせるのでしょうか。

(堤) そういう部分も確かに有りますね。

(清水) 男子ばかりなので喧嘩などはあるでしょうね。

(堤) そう。中学一年生が集団生活に対応できず、トラブルになることが一番多いですね。上級生に俗に言う「ため口」をたたいたりもしています。それが六年間という段階的なカリキュラムの一貫教育の中で次第に社会性を身につけて育っています。特に部活動への参加で育てられることが顕著に見られますね。

(阿部) ということは、通常の勉強とは別の部分で良い意味での一般常識が少しづつ形成されて行くということですね。実は私たちもそうだったんですよ。

(堤) そういうことでしょうか。さらに本校では、二十五年程前からカリキュラムに「体験学習」ということを積極的に取り入れて来ています。

(阿部) そうでしたか。私の時代にもそれ以前ですが思い起こせばあった様な。体験学習の先進校でしたか。

(堤) そういう意味では、生徒の主體的な行動への取り組みを進めた最先端の学校としての歴史がある訳です。現在、中三で第一次産業いわゆる農業・水産・酪農など汗を流す体験をしています。生徒は最初のうちは「汚くなるのはイヤだ」と拒否はしているも

のの実体験したことでの新しい刺激と作業の途中経過を認識することで、仕事を身近に感じ、現地の方々との交流の中で、最終日には帰ることにさみしさを感ずる程です。農家の方々に感謝されて、本人たちも感激して帰ってくるという心の繋がる部分があります。先ずは行動を起こして、出掛けることでそれなりの体験をし、そこでの感動を体で受け止めることで事柄への捉え方が変わってくるのです。

(清水) 体験学習という意味では私たちの時代はコレといって当てはまる様な記憶が無いのですが、あえて今の時代の「体験学習」という言い方事体が昔には無かったのかもしれない。私は文化部でしたが先輩・後輩との繋がりの中で意識せずとも先輩達が提供してくれていたようです。

(井上) 本来今であろうと昔であろうと興味の湧くことが山程あるし、ある筈ですよ。さらに大昔に比べると経済的にも時間的にも実行することが比較的自由ですし、そういう環境の中に於いて目標が定まらない生徒が多勢いるという事は、その見つけ方自体を知らない。そういう意味で、ある一定の体験をしてもらうことにより新しい発見を促す機会を与えること。又、そこからさらに職業感が持てる様にすることが絶対必要だと思えますよ。

(堤) 近ごろは、映像メディア等による情報媒体が多く、アレもコレもと強制的に与えられることが多すぎるキラリもある。頭脳のデジタル化ですかね。もっとアナログな部分があ

っても良いと思います。

(阿部) 大部以前にはありませんが、私が中・高・大学と学生時代を過ごした中での影響といえは、今改めて振り返ると仕事で困った時に、

どの本を開けば解決できるか。これを瞬時に見分けることができ、またどの様な本かを知っていることが企業社会での現在の自分を形成していると同時に役に立っていますね。

会社に就職或いは社長として職に就いたとき、自分が今何を優先してやらなければならぬかと迷って考えるとき、また身を持って会得しなければならぬと考えたとき、その会社にいるベテランの技術者でもある職人さん。その職人さんの技術をしっかりと観察でき納得できることも解決へと導いてくれる。彼等は事実、経験と自信に溢れて光っている。

(堤) 学校教育の中では幅広い対応が必要で、改革の柱が生活と学習の二本柱に成っていることや、現在、七割くらいの生徒が理系志望の生徒ですが、幅広く学習し、自分の将来を考えて「切り開く」と言うことを念頭に入



る。彼等は事実、経験と自信に溢れて光っている。



れば、文系にも進める枠組みを制度的に用意している点で、本校は、それなりのカリキュラムの充実をみています。

(井上) 僕が生徒募集などに行く時は、付属の利点を生かした進学校です」とお話しさせていたでいます。受験に対しての教育」と人間教育を同じレベルで行う。さらに必要なのは、それらの裏付け。又、何故勉強するのか等も含めたその裏付けが、さらに充実され表面に出てくれば今よりさらに良い学校になると思っていますよ。

(塩満) そういう意味では、現在社会で活躍している現役OBをもっと活用していただければと思います。進路相談等。私は私たちOBの活動をもっともっとアピールしたいと考えています。私の仕事柄その様な付き合いや情報は一杯持っています。

(堤) いずれその面でもご協力いただければとも思っています。

(阿部) 今日は非常に多岐に渡るお話で少々話がスクランブル調のしゃべり場となりましたが、今の学校の教育現状や、今後の課題、又、私たち同窓会との今後の協力関係など貴重な話題でお互いに楽しめました。テープもそろそろ終了しそうですね、ここで対談を終わらせていただきます。有難うございました。次回はテーマを設けての対談や、現役の生徒さんのご父兄を混えて等、是非企画したいですね。有難うございました。  
(堤・井上) どうも失礼しました。  
(事務局全員) お疲れさまでした。

### 理事会報告

事務局長 塩満 守

1 今年から来年にかけては、例年にも増して定年退職を迎える先生方が多い年と成っております。前島元教頭先生を筆頭に、尾崎先生、吉田先生、大原先生と例年1〜2名程度であった定年退職される先生方が今年には倍増となります。また昨年の、熊野先生、佐藤嘉先生、今年

・来年で中野(清)先生、小野寺先生という、十期代、二十期代前半の方々に取って、懐かしい名前の先生方が次々に定年を迎え、現職を去って行かれます。  
特に、現在理事会事務局で活動されている面々には、教えを請うた懐かしいお顔と名前ばかりです。

2 今年、「柏苑祭」の同窓会の部屋にて、この先生方の最後の授業を計画しております。昔習った懐かしい先生の最後の話を聞きに是非とも来て頂きたいと思えます。

## 卒業生の皆さん

### 第46回「柏苑祭」

46回

当日に母校を訪ねましょう。

日時 平成 15 年 11 月 2 日(日)・3 日(月) ●

場所 武蔵工業大学付属中・高等学校  
(小田急線成城学園前駅下車徒歩 10 分)

新校舎 同窓会の部屋

- 本校の歴史を展示(卒業アルバム・その他)
- 退職される先生の講話(懇談を交えて)
  - 11月2日(日)午後1時~4時
  - 11月3日(月)午後1時~4時

今年から来年にかけて定年退職される下記先生方をお願いしております。(予定)【各予定日はお問い合わせ下さい】

前島 厳(体育) 大原完治(物理)  
尾崎英昭(国語) 吉田鎮雄(生物)  
佐藤嘉晃(社会)

- 進学・入学コーナー  
会員ご子息の母校への進・入学のご希望に対して同窓会として適切なアドバイスを致します。

- 喫茶コーナー
- 上記同窓会企画の詳細については、同窓会事務局・塩満(19期生)までお問い合わせ下さい。TEL. 090-3214-8023

同窓会として母校・柏苑祭への参加が定着して参りました。しかし今一歩卒業生の方々のご来場が不足しております。懐かしい母校の先生方、諸先輩、意外な方との出会いが有ります。コーヒーを飲みながら、情報交換・歓談をしましょう。お待ち致しております。

同窓会柏苑祭担当  
中澤 宏(13期生)





まだ、先生方とのスケジュールの打合わせが出来ておりませんが、日時につきましては同窓会事務局にお問い合わせ頂くか、当日直接会場にお越し下さい。

また、今年度は「柏苑祭」の日程が大幅に変更となり、例年10月初旬の体育の日前後であったものが、学校行事等にて、今年は11月2日(日)、3日(祝)と成りました。

**3**「名簿」五号の発行について  
同窓会では、二〇〇四年八月に「名簿五号」を発行する予定です。

この件につきましては7ページをご覧ください。この後不明者が分かったときには、逐次本文最後に記しております連絡先へメールをお願いします。さらに充実した名簿の作成には皆様のご協力が是非とも必要です。

**2**最近、人事新報社という出版社から、卒業生宛に武蔵工業大学付属高等学校名鑑の「購入申込書」と、「調査カード」を併用した往復ハガキが送られて来ているかと思いますが、この会社とは、学校及び同窓会は一切関係がございません。

万が一、ハガキを返送致しますと、勝手に同社の名簿に載せられ、個人情報外部に漏れ出す結果となります。  
同窓生におかれましては、記入・返送することなく、ただちに破棄して頂きたいと思っております。

**4** その他

①昨年、学校(中学)では、プールで一年生が不慮の事故で亡くなるという、不幸な出来事が起こりました。

この事故をきっかけに、父母側も学校側も安全に対する見直しが行われました。

授業の中では勿論の事、授業以外での事故、とりわけクラブ活動中の事故防止という事に関しまして、父母の関心が高く、顧問のクラブ活動への積極的参加や、父母会との積極的話し合いによる安全の強化といった事がクラブ単位で話し合われて参りました。

しかしながら現状の教職員では仕事の絶対量が多く、これ以上先生方への負担がかけられない状況です。

そこで、以前から一部クラブにて実行されておりましたが、卒業間もないOB(大学生)をコーチとしてクラブ活動にご協力頂いておりました。

しかしながら、卒業まもない若手OBのコーチという事で、色々な点で問題が発生し、その是非が問われて参りました。

そこで同窓会としても何とか協力出来ないものかと検討して参りました。

今後同窓生の中から協力者を募って学校のクラブ活動にご協力いただくよう。

OBの方々も学校に足を運ぶ事により、先生方及び在校生との交流を持つ事などにより今の母校を知り、自分がお世話に成った学校への恩返しもできる。と言ったあらゆる点で良い事づくめになる事を期待して発案致しました。  
昔取った杵柄、自分の出た学校(クラブ)の

ために、一肌脱いで見たいと思われるOBは結構居ると思われれます。

同窓会としては今回初の試みとして「柏」で呼びかけて見ました。

「我こそは」と思われる方。協力してもいいよ!と思われる同窓生が居りましたら、是非ともお申し出下さい。

また、これ以外に何か妙案がございましたら、教えて頂ければ幸いです。

同窓会理事までご連絡、お願い申し上げます。なお、現在のムサ校のクラブと致しましては、

《運動部》

- 野球部(中高)
- サッカー部(中高)
- 陸上部
- バトミントン部(中高)
- バスケ部
- トボール部(中高)
- 卓球部
- 剣道部
- 競技スキー部(中高)
- 水泳部
- 空手部
- テニス部(中高)
- ハンドボール同好会
- 柔道同好会(高)

《文化部》

- 鉄道研究部(中高)
- 天文部(中高)
- 吹奏楽部(中高)
- エレクトロニクス部(中高)
- 自動車部(中高)
- マルチメディア部(中高)
- 将棋部(中高)
- 園芸同好会

《連絡先》

- 事務局 塩満(19期) zmyanko@3ctktv.ne.jp
  - 事務局 神田(21期) kanda@tkatf.ne.jp
  - 会長 阿部(14期) abe-toshio@nde4pp.co.jp
- までお願い申し上げます。



# 「名簿三五号発行のお知らせと不明者調査のお願い」

名簿発行準備(委)

同窓会では一九八六年に「名簿」一号を発行以来、ほぼ四年ごとに「名簿」を発行してきました。今回は「名簿」五号を二〇〇四年八月(予定)に発行します。

左記の内容に沿って購入の申し込み及び不明者調査についてご協力をお願いいたします。

名簿は会員同士の交流に大きな役割を担っていますが、反面、投資や金融の押し売り等にも流用されています。同窓会では名簿販売は会員のみ限定してありますが、これらには充分ご注意下さい。

## 一、名簿販売について

◎名簿発行予定日

二〇〇四年八月末日

◎名簿内容

巻頭記事

高等学校全卒業生の氏名及び連絡先並びに中学校卒業生名・定時制卒業生名(不明者の連絡先をのぞく)。高校全卒業生の氏名索引(JIS漢字配列順)

A4版 全二九二ページ(四号実績)

## ◎申し込み方法

同封のハガキの必要事項の他に購入希望欄に○印を記入の上、投函してください。申し込みされた方には来年四月頃に振込用紙を送付いたします。この振込用紙を使用して金額を振り込んでいただきます。振込手数料は申込者のご負担下さい。(郵送費全)

## 二、名簿掲載について

同窓会名簿は「同窓会」が管理しています。皆さんの連絡先もこれを基準に行っています。当然「柏」の郵送先もこれが基準となつていきますので一人でも多くの皆さんの連絡先を確認させていただきます。しかし、押し売り等で迷惑を受けている方もおります。このような場合は同封のハガキの連絡先記入欄の末尾の「掲載不可」の欄に○印をしてください。名簿には氏名のみ掲載となりますが、「柏」の郵送は可能となります。なお、あなたのご自宅の住居表示が変更されていた場合には、数年経ちますと「柏」等の郵便物が配達してもらえなくなり、住居表示が変更になっていない方は現在の住所を記入と同時に同

## 第12回 武蔵クラシック報告

開催日 平成 15 年 7 月 20 日(日)

コース 富士ゴルフコース  
(山梨県・山中湖)

競技方法：新ペリア



武蔵クラシックに参加して

大野元延 (23 期生)

ひよんな事で同級生だった岡崎君に何十年

ぶりに再会し、今回の武蔵クラシックに誘われ初参加することになりました。そして幸か不幸か4位になり、この報告を書く羽目になりました。

当日は前日の大雨の天気予報を覆す絶好のゴルフ日和となり名門富士ゴルフコースで開催されました。

同窓生が集まったゴルフコンペですから面白くないわけがありません。先輩、後輩関係なく和気あいあい、ゴルフ後の打ち上げも大盛り上がりでした。

わたしと同じ23期生の皆さんどうし参加しましょう。そして再会を

楽しみにしていた現役先生方、登校拒否はダメです。次回からは必ず参加してください。

最後に幹事をはじめご尽力を頂いた方々、感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。

【同窓会懇親ゴルフ実行委 宮原 茂 (24期生) 連絡先 03-3703-1541】

順位	氏名	卒期	OUT	IN	TOTAL	HP	NET
優勝	清水裕司	25期	45	46	91	20.4	70.6
準優勝	渡辺真己	24期	47	48	95	24.0	71.0

順位	氏名	卒期	順位	氏名	卒期
3	加藤直樹	24期	10	井出淳一	17期
4	大野元延	23期	11	岡崎光敏	23期
5	岩佐和彦	17期	12	内山正海	
6	三厨俊夫	19期	13	野島富雄	19期
7	古橋昭男	17期	14	小林英世	16期
8	杉浦直樹	24期	15	前島 巖	元教頭
9	鈴木文久	19期	16	河野良典	24期



封の「搜索はがき」の変更(有)を  
○で囲んでいたとか、同窓会事務局  
局までご一報下さい。

三、不明者調査について  
本会の会員は一人を超えまし  
たが、残念ながら約三〇〇〇人の  
方が不明となっております。本紙添  
付同封の不明者一覧表をご覧下  
さい。知り合いの方が不明者一覧表  
に掲載されている場合は同封のハ  
ガキに記載しご投函下さい。同窓  
会では連絡先の判明した方に連絡  
を取り、掲載の可・否を確認させ  
ていただきます。

### 、母校だより、

来年平成16年度の本校受験  
の方のために教育方針やカリ  
キュラム等が分かりやすく説  
明された資料となるパンフレ  
ットが完成しております。同  
窓会の部屋に是非。



### 懐かしい顔

①卒期 ②クラブ活動など  
③卒業時担任



鈴木荘太郎  
①十四期生(昭和四十二年卒)  
②体操部  
③井口福太郎先生

高校卒業後三十七年。大学卒業  
してから私は現在に至るまで何と  
八回も転職。それも自発的ではな  
く次の職場が用意されているとい  
う恵まれた環境で。波瀾万丈です。  
会社では技術畑を歩み続けて足か  
け三十数年。女房にはここだけの  
話ですが足を向けて眠れない。ず  
っと私の好きなことをやらせて  
もらっているのですから。

一番会社で永かったのが在職八  
年間で半導体製造装置や液晶の製  
造装置、ロボット関連、ファクト  
リーオートメーションなどのサー  
ボ製作の米系会社のアジア地区販  
売への日本支社代表として。

当時米国へは延べで一年間程行  
き来しました。英語?学生時代は  
不得手でしたが、仕事上では絶対  
的に必須でした。技術への好奇心  
かとりあえず行けば何とかかなると

出掛け、当初は悲惨なものでした。  
現在では現地の会社での営業会議  
でスピーチできる程にもなりました。  
頭で考えてばかりいないで行  
動しちゃうこと。これがやはり一  
番です。当地ではアルファベット  
が宙に飛び交う夢を見た。自分で  
もびつくりしました。本当に。動物  
本能の様なものがそうさせたと思  
います。

関わったのは、現在でもテレビ  
で放映している天気予報のひまわ  
り衛星の画像を時間の経過とともに  
に雲が移動していくアレ。それを  
画面に取り込む機械装置。それと  
工場に良く置いてあるボラロイド  
カメラでオシロスコープやテレビ  
画像を撮影するためのフード付き  
拳銃の引き金型スタイルのシャッ  
ターを持つコピー装置等です。最  
初の原理を発明考案するのですが、  
後に大きなメーカーがこれを探し  
出しマーケットに商品として大量  
に供給する。これは、私は技術者  
としての宿命みたいなものを感じ  
ます。NHKテレビ放映、プロジ  
ェクトX、挑戦者たちのストーリー  
画面に描かれる以前の部分ですね。  
家では、休日には以前から盆栽  
に熱を。いいですねえ。枝ぶりを  
鑑賞しながら剪定。忙しい毎日を  
忘れさせてくれます。

### 編集後記

巻頭には母校の教育方  
針や設備その他、諸々の  
検討課題等を実践してゆ  
くための提案や取りま  
めをする中核を担われて  
いる教頭先生お二方との  
対談を。母校を更に素晴  
らしい教育環境にするた  
め、また学生生活を有意義に楽し  
く過ごさせてゆくためのご努力や  
ご苦労が私たち同窓会事務局メン  
バーにもヒシヒシと伝わりました。  
さて私たち卒業生を取り巻く環境  
はというとバブル崩壊後すでに十年  
を悠に超える年月が無駄に過ぎまし  
た。過去の或る与党政治家は「政府  
はその国の国民の政治レベルにあつ  
た政府しか持つことができない」と。  
自殺者が年間三万人を超えているそ  
うですが、倒産・リストラ・不良債  
権、どれをとってみてもこれらの現  
実の庶民生活に対して意を介せない  
政府。今月十日には衆議院が解  
散され、来月十一月九日には総選挙  
が行われます。馬鹿にされて黙って  
いたり、痛めつけられて沈んでいる  
場合ではありません。  
他人まかせや諦めもいけません。  
目先の利益に目をとられること  
なく必ず投票に出掛けましょう。  
次号には是非、政治が少しでも  
変わってゆく実感や慶びの記事を  
書きたいものです。(十四期 清水)